

認証GAPの取組内容（例）

- JGAP や GLOBALG.A.P.では、食品安全や環境保全、労働安全、人権、農場経営管理等に関するチェック項目があります。
- 日頃、皆さんがおこなっている取組に加えて、以下のようなチェック項目に取り組んで、GAP認証を目指しましょう。
- 皆さんの取組の状況について、自己点検をしてみましょう。

① 食品安全に関する項目

	取組内容(例)	チェック
1	照明器具の破損による異物混入を防ぐため、例えば、蛍光灯にカバーをつけるなど、破損時の飛散防止対策をしている。	<input type="checkbox"/>
2	農薬散布に使用した防除服を着たまま、収穫作業はおこなわず、必ず着替える。防除服は着用後にほかの服とは分けて洗浄する。	<input type="checkbox"/>
3	収穫や調製時において、農産物と接触する可能性のある機械の稼動部には、食品安全上問題のない潤滑油を使用するなどの対策を講ずる。	<input type="checkbox"/>
4	作業場所で飲食をする場合は、飲食後に清掃し、又は必要に応じて殺菌をして農産物の衛生に影響がないようにする。	<input type="checkbox"/>

② 環境保全に関する項目

	取組内容(例)	チェック
1	農産物の洗浄後の廃水は、残さを網などで除去した上で排水する。	<input type="checkbox"/>
2	農場に有機物を投入する場合は、同じ地域内で発生した有機物を優先的に使用し、地域内の資源循環を考慮する。	<input type="checkbox"/>
3	電気や重油、灯油等のエネルギー使用量を把握し、温室効果ガスである二酸化炭素の発生抑制と省エネルギーに努める。	<input type="checkbox"/>
4	水の使用量に関する行政や地域での取決めなどに従って節水に努める。	<input type="checkbox"/>

③ 労働安全に関する項目

	取組内容(例)	チェック
1	ほ場や道路、施設全体の危険な箇所や危険な作業の点検を年1回以上行う。	<input type="checkbox"/>
2	圃場や倉庫などにおける作業上の危険な場所には、事故やケガを防止するために、注意喚起の表示をするなどの対策をおこなう。	<input type="checkbox"/>
3	機械や設備、車両などのリストを整理し、適期に点検や整備、清掃を行い、その記録を保存する。	<input type="checkbox"/>
4	事故発生時のケガに備えて、清潔な水や救急箱がすぐに見えるようになっている。	<input type="checkbox"/>

④ 人権に関する項目

	取組内容(例)	チェック
1	労働者を雇用している場合、休憩時間や作業場の照明の明るさ、有給休暇の取得やメンタルヘルスなどについて、年1回以上話し合いをし、記録する。	<input type="checkbox"/>
2	同じ条件での仕事については、国籍や性別などで賃金に差を設けない。	<input type="checkbox"/>

⑤ 農場経営管理に関する項目

	取組内容(例)	チェック
1	農場や資材管理、労務管理等の各部門の責任者がわかる組織図をつくり、担当者を明確にする。	<input type="checkbox"/>
2	作業者が適切な管理を実施できるよう、教育訓練を行い、その内容を記録する。	<input type="checkbox"/>

⑥ その他

	取組内容(例)	チェック
1	苦情や異常が発生した場合を想定し、商品回収のテストを行う。	<input type="checkbox"/>
2	種苗や資材を購入する際には、購入元業者の信頼性の確認を行っている。	<input type="checkbox"/>